

科目ナンバー： 研究・CNS：MC9043

授業コード： 6630900400

講義科目名称： 地域看護学特別演習(地域看護学研究)

英文科目名称： Seminar of Community Health Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1・2学年	2単位	選択
担当教員			
◎高林知佳子、関睦美			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 後期	【授業時間】 30時間		
	【担当教員】 【氏名】 ◎高林 知佳子 関 睦美	【所属】 新潟県立看護大学 同上	【研究室】 304 301	【メールアドレス】 takabaya@niigata-cn.ac.jp museki@niigata-cn.ac.jp
	【大学の科目区分】 専門分野			
	【DP1】	【DP2】	【DP3】	【DP4】
研究	○	◎	○	○
CNS				
助産				

到達目標	地域看護領域における自己の研究課題を明確にし、研究計画書を作成することができる。
授業概要	地域看護領域の研究課題を明らかにし、研究計画を精練し、研究計画書を作成する基礎的能力を養う。
授業計画	<p>1 授業内容 授業形態：講義（対面） 学修課題：ガイダンス 学修内容：授業の到達目標、授業概要、授業構成、授業スケジュール、地域看護学に関する研究計画書 事前学修：シラバスを事前に通読する。 事後学修：授業の到達目標と自身の研究関心を簡潔に整理する。 備考：高林、関</p> <p>2 授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議（対面） 学修課題：研究計画書の検討・評価1 学修内容：研究計画書の批判的吟味と検討評価1 事前学修：配布された研究計画書を読み、疑問点を整理する。 事後学修：討議を踏まえ、評価の視点を振り返る。 備考：高林、関</p> <p>3 授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議（対面） 学修課題：研究計画書の検討・評価2 学修内容：研究計画書の批判的吟味と検討評価2 事前学修：研究目的と背景の整合性を確認する。 事後学修：研究目的の明確化について気づきをまとめる。 備考：高林、関</p> <p>4 授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議（対面） 学修課題：研究計画書の検討・評価3 学修内容：研究計画書の批判的吟味と検討評価3 事前学修：研究方法の妥当性について確認する。 事後学修：研究方法に関する課題を整理する。 備考：高林、関</p> <p>5 授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議（対面） 学修課題：研究計画書の検討・評価4 学修内容：研究計画書の批判的吟味と検討評価4 事前学修：対象者・調査方法の記載を確認する。 事後学修：対象設定の工夫について振り返る。 備考：高林、関</p> <p>6 授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議（対面） 学修課題：研究計画書の検討・評価5 学修内容：研究計画書の批判的吟味と検討評価5</p>

7	<p>事前学修：倫理的配慮に関する記載を確認する。 事後学修：倫理的配慮の重要点を整理する。 備考：高林、関</p> <p>授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議（対面） 学修課題：研究計画書の検討・評価6 学修内容：研究計画書の批判的吟味と検討評価6 事前学修：データ収集・分析方法を確認する。 事後学修：分析方法の妥当性について整理する。 備考：高林、関</p>
8	<p>授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議（対面） 学修課題：研究計画書の検討・評価7 学修内容：研究計画書の批判的吟味と検討評価7 事前学修：先行研究との関連を確認する。 事後学修：先行研究の位置づけについて振り返る。 備考：高林、関</p>
9	<p>授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議（対面） 学修課題：研究計画書の検討・評価8 学修内容：研究計画書の批判的吟味と検討評価8 事前学修：研究の独自性・意義を確認する。 事後学修：研究意義の表現について整理する。 備考：高林、関</p>
10	<p>授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議（対面） 学修課題：研究計画書の検討・評価9 学修内容：研究計画書の批判的吟味と検討評価9 事前学修：全体構成を通して確認する。 事後学修：研究計画書全体の課題を整理する。 備考：高林、関</p>
11	<p>授業内容 授業形態：演習（対面） 学修課題：研究フィールド開拓1 学修内容：フィールドワーク 事前学修：研究フィールドの概要を事前に調べる。 事後学修：フィールドワークで得た気づきを整理する。 備考：高林、関</p>
12	<p>授業内容 授業形態：演習（対面） 学修課題：研究フィールド開拓2 学修内容：関連学会の参加 事前学修：参加予定学会のテーマを確認する。 事後学修：学会参加を通して得た学びをまとめる。 備考：高林、関</p>
13	<p>授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議（対面） 学修課題：まとめ 学修内容：研究計画書の修正 事前学修：これまでの指摘事項を整理する。 事後学修：研究計画書の修正点を明確にする。 備考：高林、関</p>
14	<p>授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議（対面） 学修課題：まとめ 学修内容：今後の課題と展望に関する検討 事前学修：自身の研究の今後の方向性を考える。 事後学修：研究課題と今後の展望を整理する。 備考：高林、関</p>
15	<p>授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議（対面） 学修課題：研究課題に関連する文献のクリティーク 学修内容：クリティークを通して自己の研究課題を洗練化・焦点化していく 事前学修：研究課題に関連する文献を1本選ぶ。 事後学修：文献クリティークを通して研究課題を整理する。 備考：高林、関</p>
事前・事後学習	
評価方法、評価基準	到達目標に対し、プレゼンテーションと討論（30%）、研究計画書・倫理審査書類の完成度（70%）により評価する。
テキスト	最新の論文や文献を使用するため、特定のテキストは使用しない。
参考図書・資料等	文献や参考図書等は各自探し、学びを深める。関連学会に参加し情報収集する。
受講、課題、資料配布等のルール	・授業は、事前学修した内容についてプレゼンテーションし、事前にまとめてきた疑問点や不明点・討議した内容に沿って討議を進めるゼミ形式とする。 ※詳細は初回開講時に説明する。
教員からのメッセージ	忍耐強く真摯に研究課題を探求できる学びを期待します。

オフィスアワー	メールにてご連絡ください（メールアドレス：takabaya@niigata-cn.ac.jp）。
---------	--